



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月30日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL <http://www.cota.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,958	9.4	1,395	9.4	1,412	11.2	983	8.4
2019年3月期第3四半期	5,444	5.2	1,276	11.1	1,270	9.0	907	10.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	54.91	—
2019年3月期第3四半期	50.10	—

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,100	7,693	76.2
2019年3月期	9,401	7,009	74.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,693百万円 2019年3月期 7,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	5.8	1,367	△2.2	1,390	△0.7	958	△0.7	53.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	20,449,836株	2019年3月期	20,449,836株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,543,664株	2019年3月期	2,538,769株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	17,907,521株	2019年3月期3Q	18,113,907株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

なお、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおり、当社は2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 2020年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、48円63銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が持続したものの、米中貿易摩擦の激化リスクや英国のEU離脱問題など、不安定な情勢で推移しました。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、「カウンセリング&ビューティー」という施策を展開し、美容室でのワンランク上のカウンセリングを通じて、来店客に対してヘアケアの重要性を提案することで、本当に美しくなるための意識改革を促しました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進し、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」及び2019年5月に発売した新製品「コタトリート プレミーク」を中心としたトイレタリーの販売が好調であり、また、2019年11月から12月にかけて開催した当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の結果が堅調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることに加え、粗利率の高いトイレタリー製品の販売が好調であったことから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,958百万円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益は1,395百万円(前年同四半期比9.4%増)、経常利益は1,412百万円(前年同四半期比11.2%増)、四半期純利益は983百万円(前年同四半期比8.4%増)となりました。

なお、当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	3,888	71.4	4,405	74.0	517	13.3
整髪料	900	16.6	939	15.8	38	4.3
カラー剤	265	4.9	227	3.8	△37	△14.2
育毛剤	214	3.9	207	3.5	△7	△3.5
パーマ剤	93	1.7	91	1.5	△1	△1.9
その他	80	1.5	86	1.4	5	6.9
合計	5,444	100.0	5,958	100.0	514	9.4

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から698百万円増加し、10,100百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が445百万円、受取手形及び売掛金が235百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から14百万円増加し、2,406百万円となりました。

主な要因としては、未払金が430百万円減少し、販売奨励引当金が275百万円、流動負債のその他が186百万円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から684百万円増加し、7,693百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が690百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、76.2%(前事業年度74.5%)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、個人消費の回復が依然として遅れているなど、不透明な要素が多く、美容室の経営に直接影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。また、美容業界におきましては、過当競争によりオーバーストア状態である美容室軒数は、徐々に市場規模に見合った軒数に向かうと推測されます。美容室経営においては、引き続き経営競争による二極化が進むことが予想されますが、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を展開し、美容室の業績向上に資することができる当社にとっては、今後のビジネス環境の変化は追い風であると認識しております。したがって、当社では、独自のビジネスモデルを通じて、お取引先美容室の業績向上に取り組み、業界の発展と近代化に引き続き注力する考えであります。

業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました2020年3月期の通期業績予想を本日(2020年1月30日)付で修正いたしました。修正の詳細につきましては、同日付で公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,992,698	4,437,955
受取手形及び売掛金	1,288,160	1,523,430
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	535,322	520,560
仕掛品	17,669	17,579
原材料及び貯蔵品	205,204	292,334
その他	26,109	50,675
貸倒引当金	△32	△38
流動資産合計	6,115,132	6,892,496
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,095,694	1,053,421
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	155,874	128,696
有形固定資産合計	2,410,474	2,341,024
無形固定資産	145,496	112,205
投資その他の資産	730,851	754,711
固定資産合計	3,286,823	3,207,941
資産合計	9,401,956	10,100,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,259	174,455
未払金	510,671	80,272
未払法人税等	409,000	343,307
賞与引当金	208,243	111,327
役員賞与引当金	—	20,468
販売奨励引当金	46,391	322,345
その他	237,719	424,289
流動負債合計	1,563,284	1,476,465
固定負債		
退職給付引当金	129,191	170,706
役員退職慰労引当金	523,742	569,494
資産除去債務	41,644	48,497
長期預り保証金	135,033	141,828
固定負債合計	829,610	930,526
負債合計	2,392,895	2,406,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,854	330,888
利益剰余金	8,557,129	9,247,373
自己株式	△2,267,619	△2,273,875
株主資本合計	7,008,163	7,692,186
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	896	1,258
評価・換算差額等合計	896	1,258
純資産合計	7,009,060	7,693,445
負債純資産合計	9,401,956	10,100,437

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,444,060	5,958,254
売上原価	1,377,315	1,455,175
売上総利益	4,066,744	4,503,079
販売費及び一般管理費	2,790,605	3,107,564
営業利益	1,276,139	1,395,514
営業外収益		
受取利息	2,060	2,294
受取配当金	992	1,219
受取賃貸料	4,970	4,737
業務受託料	7,200	7,200
その他	3,467	3,630
営業外収益合計	18,691	19,082
営業外費用		
賃貸費用	1,040	898
支払手数料	22,997	—
固定資産除却損	0	461
その他	259	906
営業外費用合計	24,297	2,266
経常利益	1,270,533	1,412,330
税引前四半期純利益	1,270,533	1,412,330
法人税、住民税及び事業税	393,044	504,382
法人税等調整額	△30,035	△75,385
法人税等合計	363,008	428,996
四半期純利益	907,524	983,334

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年1月30日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

#### 1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

#### 2. 株式分割の概要

##### (1) 分割の割合及び時期

2020年4月1日付をもって2020年3月31日(火曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

##### (2) 分割により増加する株式数

2020年3月31日(火曜日)最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	20,449,836株
今回の分割により増加する株式数	2,044,983株
株式分割後の当社発行済株式総数	22,494,819株
株式分割後の発行可能株式総数	67,908,891株

#### 3. 日程

基準日公告日	2020年3月16日(月曜日)
基準日	2020年3月31日(火曜日)
効力発生日	2020年4月1日(水曜日)

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	45円55銭	49円92銭

- (注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、2019年4月1日付の株式分割(1:1.1)及び2020年4月1日付予定の株式分割(1:1.1)が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。